

エゾマツ



No.65 2003. 6. 10

北海道ボランティア・レンジャー協議会

目次

1. 巻頭言 山岳写真家市根井孝悦氏に学ぶ…… 会長 川 端 功 治…… (1)
2. 野幌森林公園の観察 …………… 久志本 アイ …………… (3)
3. 白亜紀の花の姿 ホオノキ …………… (4)
4. 千葉に戻って …………… 北 山 繁 …………… (6)
5. キーワード …………… (8)
6. 定期総会議案書 …………… (9)
7. ヤマナラシ (山鳴らし) 考 …………… 川 端 功 治 …………… (19)
8. 研修会情報 …………… (25)
9. 自然体験塾日程 …………… (28)
10. 編集後記 …………… (29)

〔巻頭言〕

山岳写真家市根井孝悦氏に学ぶ

会長 川端 功治

日本の山岳写真界のトップレベル級と称賛されている市根井氏は意外にも気さくな方で、どんな些細なことでも偉ぶらないで教えて呉れるのが嬉しい。

日高山脈ならどこを歩いても熊と対面することは日常茶飯事でビクビクしては仕事にならないので、我関せずと熊の存在を無視した行動をとると、疑わしそうにこちらを見るが、今日まで何事も無かった。ただ多くの人々の記憶にもある九州大学生が数人熊に食べられた場所の近くに、テントを構えて居たらそこえヌーッと巨大な熊が現れ、未だかつて見たことも聞いたこともないドデカイ熊でした。遠くから見れば両者睨みあつて居るように見えたかもしれませんが私の腰のちょうつがい外れてしまって、ヘタッて座ったまま。

幸運にも今ここに貴方の前に立って居られるのは、日高の熊たちが写真の道具を背負ってヤブ漕ぎをする私の存在を許して呉れたのです。こんな嬉しいことはありませんが、別の所では本当に悲しいことがありました。

大雪山系のトムラウシ山で台風の襲来を受け、大暴風雨の荒れ狂う中を頂上直下の窪地にテントを張りつけ、岩塊で押さえつけ、とにかくもぐりこんで明日の夜明けを待つことにしました。眠気もあったが、流れ込む雨水の掻き出しに忙しくしていたときに、ゴーゴーと山鳴りがして吹き荒れる深夜の闇のなかから、かすかに鈴の音が聞こえる。まさかと思いながら耳をそば立てる。次第に近寄って来たかと思えば又離れる。それは間違いなく登山者が熊よけに着ける鈴の音なのです。それで、豪雨の中を登行を試みたが、断念して寝場所を探していると推理した。それなら私と同じ仲間であってその内にスズの音が止んだので、適当な場所を見つけて宿泊したものと考え、疲れもあって私は寝込んでしまった。

明るく朝、臨時の隣組にご挨拶ぐらいの気持ちで、鈴の音の絶えた方角を辿

ったら、登山者らしい服装の人が横になっている。声をかけたが返事がない。

顔を起こしてみたら女性でした。死んでいる。白蠟のような顔に微かな微笑みをうかべていた。慟哭。私は自分に対して罵り続けた。私は馬鹿者だった。私は何故にテントから半身でも出して安否を問う呼びかけをしなかったのかと自嘲しこの世広しと言えども、この女性を救うことの出来たのは私一人だったのに。

自嘲の日々が続いたが漸く気を取りなおして、北海道の山岳写真集1、2、3部を完成させました。店頭にてでもご覧下さい、と結んだ。

文句無しに素晴らしい氏の山岳写真は4ノ5版の原判から伸ばされて、畳大や襖半切版など見る者を圧倒する迫力があり、人気抜群なのでこれから全道各地で展覧会が開かれると思われまますので、ぜひ御鑑賞下さい、必見の価値があります

市根井氏と対談をしたりその作品を見せて貰っているうちに、市根井氏の提供してくれる感動は写真という媒体を介しております。次元やスケールも違いますが私達が提供する観察会の感動は自然の生の姿であつて、何物にも換えがたい貴重な体験であることも誇りたい。「お蔭様でクマゲラを見せて貰いました。樹木に穴を掘るパワーに驚き、一声叫んだ強烈な鳴き声は一生忘れません」と私に握手を求めてきたご婦人。「これが噂のアケボノソウですか、しっとりとしたこの美しさは感激です。小樽からグループを誘って来ました。」丁寧な挨拶を残して去ったご婦人達。トガリネズミの死体にフキの葉を被せ手を合わせ拜むご婦人は

「ネズミは大嫌い、でもミミズを食べて体温を保つが、ミミズの捕獲能力が衰えると体温を上げようと、せめてもの太陽熱をもとめて、地上に這い出るが、これがこの世の最後の姿なのですとレンジャーの方が教えて呉れました。哀れです」と涙ぐむ人。私達は生き物である限り喜怒哀楽は付きものです。それが感動で綴られればそれは素晴らしい生き甲斐となります。観察会をどのように運営すれば好ましいか会員各位のご献策を期待して居ります。

野幌森林公園の観察

札幌市厚別区 久志本 アイ

4月1日 晴れ 10:30~14:30

コース 森の自然教室前~大沢口~エゾユズリハコース~大沢コース~桂コース

自然教室前。カエデ（ビックメープル?）地上から30~40cmの木の幹の回り全体、外皮がかじられ細かい木くずが山になっていました。

森の入り口のキタコブシの花芽。ふくらみが大きくなっていました。トドマツの林床、雪どけがすすみフッキソウ、エゾユズリハが見られました。木の根空が進んでいます。

11:25 カラマツの林で地面スレスレ 黒い姿。クマゲラ雄を発見。約20分間、後続の方たち5人と観察。夢中で幹をつついていてる姿にしばし見とれ鳴き声も聞きたいとの私たちの願いに答えるかのように幹のテッペン迄6~7回鳴きながら登り、瑞穂の池の方へ。拍手で見送りました。

後半、フクジュ草を見たいと雪解けの進んだ斜面を求めて大沢園地へ。十字路近くで3輪、桂コースで1輪出会う事ができました。

エンブレムができました

昨年度の予算で本会のエンブレムを作る計画をたて、作成注文をしてきましたが、大変遅れて出来上がりました。

服の胸につけたり、帽子につけたり個々人の好みで利用してください。このエンブレムには誇りをもって活動して欲しいとの願いがこめられています。

なお、予備がありますので、必要の会員の方がいましたら、1個500円でお送りします。連絡は事務局（田村 011-791-0127）まで。

白亜紀の花の姿 — ホオノキ —

ホオノキの花が咲き始める季節になりなした。晴れた日にこの花を見ると大きな花にみあった強い香りを発しています。それもそのはず、ホオノキはモクレン科ですから花はよい香りを発しているのです。ホオノキを含むシモクレン、ハクモクレン、コブシ、ユリノキ等のモクレン科の植物は、現在世界で13属240種が知られています。日本にはモクレン属6種とオガタマノキ属1種が自生し、ホオノキは全国に分布しています。

さて、このホオノキの花は日中開花（雨天の日は開かない）し、性は雌性期から両性期そして雄性期と変化する雌性先熟です。そして、花が生殖機能をもつ期間は3日で、その間に花弁は午前11時ごろ開き夕刻に閉じる運動をくりかえします。

その後は花弁は閉じずに開いたままとなり、しだいに褐色にかわり、やがて散っていきます。これらの様子をもう少し詳しくみていきましょう。

開花1日目には花弁が椀状に開きます。雌しべの先はそれぞれ外向きに曲がり、紫色で細かい突起に覆われた柱頭は受粉可能な状態です。夕方には葯が裂け花粉がではじめますが、やがて花弁が閉じるので両性の時期はほんのわずかです。

2日目の花では雌しべの先は伏せて花粉を受けられなくなっている一方、雄しべは外側のものから斜めにはりだし、葯が裂け花粉がでてきます。時間の経過とともに順次内部の雄しべがはりだしてきます。この状態の雄しべに昆虫がふれるとポロッと落ち花弁の上に積み重なっていきます。昆虫は多くの場合そのような雄しべから花粉を集めたり、なめたりしています。

3日目にはわずか10~20本ほどの雄しべが花床上に残った状態で花弁が開きます。このような状態の花には昆虫も多くは訪れません。

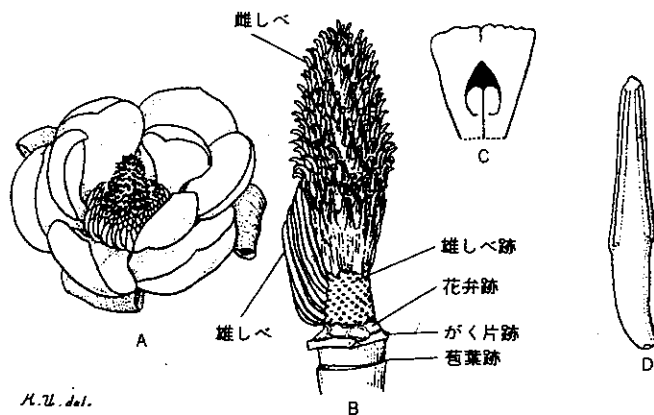
このように開花2日目か3日目の雄性期の花を訪れ花粉を付着させた昆虫が、開花1日目の雌性期の花を訪れなければ受粉は成立しません。

次に花の構造について調べてみましょう

ホオノキの構造図は下記のように多数の花葉（がく片、花弁、雄しべ、雌しべ）がらせん状に配列している構造です。一般に花といえば3枚とか5枚の決まった数のがく片、花弁と多数の雄しべと、1個の雌しべがあると思われがちですが、ホオノキに見られる花こそ、被子植物が誕生した白亜紀（約1億3600万～6500万年前）の頃の姿を今にとどめているのだとされています。

ホオノキの花が終わると、なごりをとどめるのは雄しべや花被が落ちた、雌しべの集まった部分です。この雌しべは成長して果実になります。しかし咲いた花の雌しべすべてが成熟した果実になるわけではありません。受粉しなかったものや強風にいためつけられた果実はつぎつぎと落下してしまいます。

ホオノキの花の咲くこの時期、花の観察から秋の果実のできるまでを継続観察してみると面白い観察結果が得られるでしょう。



ホオノキの花 A. 全体図。B. 花被を取り除いたところ。雄しべ、雌しべのらせん配列に注目。C. 胎座の位置での雌しべの横断面。D. 雄しべ。花糸と葯隔の区別がなく小孢子葉の姿をとどめている。

参考・引用

- ・植物の世界 樹木編 ニュートンプレス
- ・森の木の100不思議 東京書籍

千葉に戻って

松戸市 北山 繁

千葉県松戸市（東京と江戸川をへだてて隣り合っている）の方に戻り、早、3ヶ月になり、こちらでの活動を開始するためフィールド調査に専念しているところです。こちらでの活動経験が全くなかったため、どんな動植物が存在するのか、いまのところ同定作業をやりながら名前を覚えるのに懸命である。動植物の分布が北海道とは違うと聞いていたが、雑木林に入って50種ぐらいの樹木のうち道内のものど一致したのはクリ、コナラ、ハリギリ等で、後は初めて名前を聞くものばかりだった。こちらの森林は、いわゆる雑木林と呼ばれるもので、面積も小さく15分も歩けば住宅地や畑にでてしまう。北海道での森林の概念とはかなり違っている。雑木林の中は冬なのに殆どの木は落葉しておらず、圧倒的に常緑樹（アカシデ、アカガシ、ウバメガシ、オガタマノキ、カラタネオガタマ、モチノキ、コウヤマキ、マテバシイ等）が多く、林内は緑々としている。その上ヤブツバキの赤い花がところどころに咲いており、冬期の冬芽の観察に終始していた北海道の森林とはだいぶ勝手がちがう。

3月から利根運河（利根川と江戸川を結ぶ水路→江戸へ物資を送り込むため開発）の堤防ののり面に咲く野草調査に参加している。3月の調査では日当たりのよいのり面は、緑一面の野草におおわれ、オオイヌノフグリ（うす紫）、カントウタンポポ（黄色）、ホトケノザ（ピンク）、ヒメオドリコソウ（ピンク）等の花が開花していた。

水辺には、カルガモ、バン、カイツブリ、コガモ、シラサギ類（ダイサギ、コサギ）、ゴイサギ、カワセミ、野鳥ではツグミ、カワラヒワ、アオジ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、珍しいものではタゲリ等が見られた。

北海道と本州の季節感のずれは大体1ヶ月から1ヶ月半といわれている。梅は2月下旬～3月中旬、桜にさきがけて咲くコブシ、ハクモクレンは3月下旬～4月上旬、桜は3月下旬～4月上旬、桜は主流をなすのはソメイヨシノ（オオヤマザクラ
オオシマザクラ

とエドヒガンの交配種)で、北海道のエゾヤマザクラと比べると、うすいピンクで、だいぶ趣が違ふ。どちらかと言うと私はエゾヤマザクラの濃いピンクが好きだ。

昔、道民は本州のことを内地と呼んでいた。私が小学生の頃は親たちが日常的に使っていた。今では差別的な用語扱いされ、使う人が少なくなっている。当時の人たちににとっては北海道まで到達するのに長時間かかり、冬の厳しき、自然景観の違いから、明治期に本州から移住した人たちに、まさに北海道は外地であったのだろう。交通機関の発達、暖房施設の充実等で道民の外地意識はうすれてきているが、季節感のずれや、動植物の分布や自然景観の相違から見ても、本州に移り住む私の目から見ると北海道はまさに“外地”である。

わずか3ヶ月間のフィールド調査だが、私の住む松戸周辺の自然は札幌周辺に比べると、くらべものにならないくらい貧相なものだ。しかし、地域の人たちは、わずかに残された自然を大切に守って、いこうと色々な団体を組織して活動している人たちの姿を見て、私も微力ながら自然保護に携わっていきたいと思っている。

北海道の自然もだいぶ破壊されているとはいえ、本州と比較するとまだまだ豊かなものである。

ボラレンの皆さん、北海道の豊かな自然を残すため頑張ってください。私も千葉の地で、わずかに残された自然を守るため頑張りたいと思います。

川端会長をはじめ多くの会員の方から教えて頂き感謝しております。お元気で活躍してください。

千葉県松戸市に転居された北山さんは、自然環境保全活動に積極的に活動されていて、本会にとっても貴重な存在でした。どうか現在地でもお元気で活躍してください。

キーワード



植物季節観測

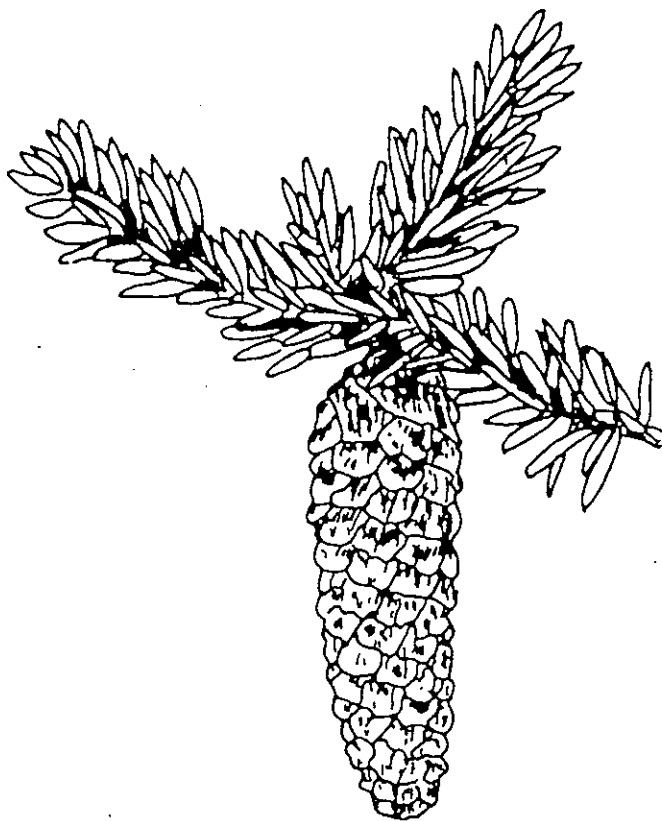
北海道の花、木、鳥はハマナス、エゾマツ、タンチョウです。札幌市ではスズラン、ライラック（ムラサキハシドイ）、カッコウで、道内各市町村でも花、木、鳥を制定しているところが多々あります。札幌市の花、木、鳥はさわやかなこの季節に登場してきますし、季節ごとに登場する動植物の時期はその年によって微妙に異なります。このような動植物の出現する時期を観測することを「生物季節観測」といいます。

生物季節観測は花の開花した日（開花日）、満開になった日（満開日）、植物の発芽した日（発芽日）、紅葉・黄葉の日（紅葉日・黄葉日）、動物の姿を初めて見た日（初見日）、動物の鳴き声を初めて聞いた日（初鳴日）のような動植物の状態が季節によって変化する現象について観測します。生物季節観測の目的は生物によぼす気象の影響を知るとともにその観測結果から季節の遅れ進みや気候の違いなど総合的な気象状況の推移を知ることだと言えます。生物季節観測は対象となる生物によって植物季節観測と動物季節観測に分けられ、この観測は1953年以降全国の102の気象官署で継続的な観測がおこなわれています。

この観測には、全国共通の「規定種目」と各地域の特性に合わせて選んだ「選択種目」の2種類がありますが、今年気象庁では観測種目を大幅に削減しました。削減の理由は全国各地で都市化が進み、生物の観測が困難になってきたことにあります。北海道の選択種目では今年からカッコウは削除され、植物のライラックとスイセンの開花のみとなりました。

自然環境の悪化による観測種目の減少はさびしいかぎりですが、ライラックの花やカッコウの鳴き声に今年も目と耳をかたむけていきましょう。

平成15年度 第18回定期総会



日 時 平成15年4月12日(土)
13:00~16:30
場 所 かでる2・7 8階 810号室
(札幌市中央区北2条西7丁目 TEL011-231-4111)

北海道ボランティア・レンジャー協議会

平成15年度 第18回定期総会日程

日 時 平成15年4月12日(土) 13:00~16:30

(かでの2・7 810号室)

- ・受付 13:00~13:30
- ・研修会 13:30~14:45
- ・総会 15:00~16:30

《研修会》

動物園の役割

講師 金田 寿夫 様(元札幌市円山動物園園長)

《定期総会》 司会進行 佐藤健一総務部長

(出席・委任状、総会成立確認)

1. 開 会
2. 会長挨拶 川端会長
3. 来賓紹介と来賓挨拶
 - ・環境生活部環境室自然環境課次長 山田 勝治 様
 - ・ " 係長 長尾 康 様
 - ・野幌森林公園事務所利用課長 阿部 房敏 様
 - ・ " 主任 永安 芳江 様
 - ・ " 福井 拓郎 様
4. 議長選出と議事録署名人の選出
5. 議長就任挨拶と議事録署名人の紹介
6. 議 事
 - 1号議案
 - ・平成14年度事業報告
 - ・平成14年度決算報告並びに監査報告
 - 2号議案
 - ・平成15年度事業計画(案)
 - ・平成15年度収支予算(案)
 - 3号議案
 - ・その他(会費振り込み手数料の件)
7. 議長退任
8. 閉 会

《連絡事項》

〈1号議案〉

1. 平成14年度事業報告

(1) 観察会事業

観 察 会 名	日 時	集 合 場 所	参加人数		備 考
			一般	会員	
4月の森の観察会	4月18日(木) 10:00~12:00	野幌森林公園 開拓記念館前	45	14	協力
ありがとう観察会	5月12日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	21	11	共催
野幌自然観察会	6月2日(日) 10:00~12:00	野幌森林公園 森の自然教室	3	7	雨天の為中止 共催(職員の協力)
恵庭自然観察会	6月16日(日) 10:00~12:00	恵庭公園駐車場	9	8	主催
富良野 原始が原観察会	6月30日(日) 10:00~12:00	富良野 原始が原登山口	13	12	研修を兼ねる 主催
7月の森の観察会	7月18日(木) 10:00~12:00	野幌森林公園 開拓記念館前	44	11	協力
真駒内自然観察会	7月28日(日) 10:00~12:00	地下鉄 真駒内駅前	19	12	主催
夏の森の観察会	8月11日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	31	16	協力
利根別自然観察会	8月25日(日) 10:00~12:00	利根別公園 大正池駐車場	9	5	主催
野幌自然観察会の集い	9月8日(日) 10:00~12:00	野幌森林公園 森の自然教室	31	17	主催
9月の森の観察会	9月19日(木) 10:00~12:00	野幌森林公園 開拓記念館前	41	9	協力
北見自然観察会	9月22日(日) 10:00~12:00	北見市 若松休養センター	7	10	研修を兼ねる 研修部
秋の森の観察会	10月20日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	80	11	協力
ありがとう観察会	11月10日(日) 10:00~14:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	19	13	共催
12月の森の観察会	12月19日(木) 10:00~12:00	野幌森林公園 開拓記念館前	18	11	協力
冬の森の観察会	2月9日(日) 10:00~13:30	野幌森林公園 ふれあい交流館前	27	11	協力
早春の森の観察会	3月23日(日) 10:00~12:00	野幌森林公園 開拓記念館前	45	12	主催

●小樽支部観察会

観 察 会 名	日 時	参加人数				備 考
		一般	会員	補助	計	
天狗山～オコバチ川	2月23日(土)	5	3		8	山スキー
天狗山東斜面	3月16日(土)	11	2		13	カンジキ
赤岩岬～オタモイ海岸	4月27日(土)	56	6	1	63	春植物
松倉岩	5月27日(土)	39	5	1	45	春植物
神居尻山(貸切バス)	6月 8日(土)	22	1	2	25	高山植物
塩谷丸山	7月 6日(土)	36	6		42	夏の植物
藻岩山	8月 3日(土)	19	3	1	23	原生林
余市岳	9月28日(土)	30	3	2	35	高山植物
天狗～穴滝	10月 5日(土)	29	3	1	33	紅葉
市有林(納会)	11月 9日(土)	17	2	1	20	カラマツ

(2) 研修会事業

- ・4月 6日(土) 講演 「自然を楽しむ」 北海道環境室自然環境課
自然ふれあい係長 長尾 康 様
- ・6月30日(日) 原始が原観察会(研修会を兼ねる)
- ・9月22日(日) 北見観察会(研修会を兼ねる) 北見支部主催
- ・10月5日(土)～6日(日) 然別研修会 講師 糠平ビジターセンター
学芸員 川辺 百樹 様

注 ・湿原の植物研修会については講師との日程調整ができず中止
・各種観察会の下見を会員研修の場として実施

(3) 他団体への協力派遣事業

- ・5月30日(木) 篠路西中学校総合学習のガイド 2名派遣
- ・7月12日(金)～14日14日(日) ニセコ育成研修会講師4名派遣
- ・8月 4日(日) 北区子ども会連合キャンプガイド 3名派遣
- ・8月31日(土) 慶祥高校観察会ガイド 5名派遣
- ・10月 4日(金) 白石生活改善グループガイド(中止)
- ・3月 9日(日) 野幌森林公園クマゲラ調査に協力(4名)

(4) 広報誌「エゾマツ」「自然観察NOW」発行事業

- ・6月26日(水) エゾマツ 61号 発行
- ・10月24日(木) エゾマツ 62号 発行
- ・1月22日(水) エゾマツ 63号 発行
- ・3月28日(金) エゾマツ 64号 発行
- ・自然観察NOW 12回発行(野幌森林公園観察会参加者に配布)
- ・14年度観察会記録については、5月中に発行予定

(5) 会 議

- ・14年度17回定期総会 4月6日(土) かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
- ・14年度第1回役員会 5月9日(木) 環境サポートセンター
- ・14年度第2回役員会 9月18日(水) 環境サポートセンター
- ・14年度第3回役員会 1月19日(日) 環境サポートセンター
- ・14年度第4回役員会 3月26日(水) 環境サポートセンター

(6) その他の活動

- ・4月3日(水) ジーエス販売より10万円の寄付
- ・4月18日(木) 野幌森林公園事務所へ挨拶 会長、事務局長
- ・4月24日(水) 環境道民会議 道庁別館 会長、事務局長出席
道庁自然環境課へ挨拶 会長、事務局長
- ・5月1日(水) 育成研修会の打ち合わせ(自然環境課 事務局)
- ・6月23日(日) 野幌森林公園ゴミクリーン作戦参加共催(雨天)
- ・7月14日(日) 育成研修修了者に本会加入勧誘(15名加入)
- ・11月20日(火) 共通運送KK 長原様 10万の寄付
- ・1月26日(日) 「道民とともに考える森づくりの集い」話題提供、ポスター協力
- ・3月3日(月) 総会研修会講師決定(元円山動物園園長 金田寿夫氏)
- ・3月25日(火) 15年度 森づくりの集い意見集約会議 事務局出席

(7) 備 品

- ・双眼鏡15台、望遠鏡2台、聴診器5本、携帯救急医療箱1個(公園事務所保管)
- ・携帯無線機2台1組(五十嵐副会長)
- ・ファックス電話2台(研修部長宅、広報部長宅)
- ・コピー機1台(佐藤総務部長)

2. 平成14年度決算報告並びに監査報告

(1) 平成14年度決算報告

収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	差額	摘要
前年度繰越金	367,436	384,298	16,862	広報部精算残金
年会費	450,000	438,000	▲12,000	129名 新会員2000×15名 13年度会費入金6名
雑収入	132,564	202,880	70,316	寄付金 共通運送 シェア販売
預金利子	0	75	75	
合計	950,000	1,025,253	75,253	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	差額	摘要
総務部費	120,000	106,803	13,197	通信費 役員会総会会場費 役員会交通費 事務用品 雑費
事務局費	160,000	149,773	10,227	通信費 事務用品費 記録代 エンブレム作成 雑費
研修費	120,000	74,852	45,148	研修会講師謝礼 研修会宿泊補助 地方支部交流交通費 事務用品費 雑費
活動費	100,000	56,500	43,500	修会参加補助 親善会交通費 地方支部費
広報費	200,000	140,529	59,471	会報誌作成 通信費 雑費
予備費	100,000	0	100,000	
特別会計	150,000	150,000	0	20周年記念金西蔵立金
合計	950,000	678,457	271,543	

収支残高

単位：円

項目	収入	支出	残高
実績	1,025,253	678,457	346,796

346,796円を次年度への繰越金とする。

特別会計 20周年準備金

単位：円

月日	項目	金額	
14年4月	前年度繰越	640,434	
15年4月	利子	121	
15年4月	一般会計より繰入	150,000	
合計		790,555	

平成14年度監査報告

会計に関する収入及び支出の決算について通帳と諸帳簿並びに領収書等の関係書類を確認・照合した結果、いずれも適性に処理されていたことを認めましたので報告いたします。

平成15年4月5日

監事

猪俣 勉
高松 文雄

〈2号議案〉

1. 平成15年度事業計画(案)

(1) 事業計画の方針

目 標 「自然との共存、日常の実践から」

重 点

1. 環境保全活動に向けての研修に努める。
2. 多様な情報交換の場の設定に努める。
3. 会員のニーズの把握と会運営の効率化に努める。
4. 地区活動(サークル活動)の活発化に努める。

(2) 会 議

①定期総会

平成15年4月12日(土) かでる2・7 810号室

②役員会

理事会を年4回(5月、9月、1月、3月)に開催、三役会は必要に応じて開催

(3) 観察会・研修会・調査活動

- ①観察会については別紙による。また、今年度よりサークル活動の観察会随時実施。
- ②研修会についても別紙による。また、会員の要望と必要に応じ実施。
- ③観察会の記録化により資料の集積を図っていく。

(4) 他団体への協力

- ①観察会ガイドの要請については、主催の目的等を把握し協力していく。
- ②各関係機関や団体が行う自然環境保全に関わる行事や調査には参加していく。

(5) 広報誌「エゾマツ」発行

- ①年4回(6月中旬、10月中旬、1月中旬、3月下旬)の発行
- ②誌面内容と体裁の充実に努力していく。

(6) 支部や地方会員の活動の活発化。

- ①支部や地方会員の活動化に事務局は積極的に取り組む。
- ②各会員の思いや要望の発信と広報誌による交流を進める。

平成15年度

観察会・研修会予定(案)

北海道ボランティア・レンジャー協議会

月	観察会・研修会	実施日時	下見	集合場所	備考
4	4月の森の観察会	15.4.17(木)10:00~12:00	4.10 10:00	開拓記念館	協力
5	春のありがとう観察会 恵庭公園観察会	15.5.11(日)10:00~14:30 15.5.25(日)10:00~12:00	5.16 10:00 5.24 10:00	交流館(大沢口) 恵庭公園駐車場	協力・昼食持参
6	野幌自然観察会 黒松内ブナ林研修会	15.6.8(日)10:00~12:00 15.6.14~15	6.7 10:00	森の自然教室 黒松内	協力 会員研修
7	富良野観察会 7月の森の観察会	15.7.5~6 15.7.17(木)10:00~12:00	7.10 10:00	白幌荘 開拓記念館	会員研修 協力
8	夏の森の観察会 別海自然観察会	15.8.10(日)10:00~14:30 15.8.31(日)	8.9 10:00	交流館(大沢口) 野村半島	協力・昼食持参
9	9月の森の観察会 北見観察会	15.9.18(木)10:00~12:00 15.9.21(日)	9.11 10:00	開拓記念館 北見市	協力 オホーツク支部主催
10	利根別自然観察会 秋の森の観察会	15.10.5(日)10:00~12:00 15.10.19(日)10:00~14:30	10.4 10:00 10.18 10:00	大正池駐車場 交流館(大沢口)	協力
11	秋のありがとう観察会	15.11.9(日)10:00~14:30	11.8 10:00	交流館(大沢口)	協力・昼食持参
12	12月の森の観察会	15.12.18(木)10:00~12:00	12.11 10:00	開拓記念館	協力
1	円山ツボ足登山観察会	16.1.18(日)10:00~12:00	1.19 10:00	円山登山口	
2	冬の森の観察会	16.2.8(日)10:00~14:30	2.7 10:00	交流館(大沢口)	協力・昼食持参
3	早春の森の観察会 -観察会と報告会-	16.3.14(日)10:00~13:30	3.13 10:00	交流館(大沢口)	協力・研修
<p>観察会計画の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 野幌森林公園事務所の行事計画に積極的に協力する。 会員研修を年間計画に位置付ける。 支部主催行事については研修部、事務局が協力実施する。 時代や社会の要請をうけ、新しい企画を考える。 各地で実施している観察会について評価し、継続か中止を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ニセコ観察会については、隔年実施とする。 真駒内観察会、野幌自然観察の集いは中止する。 恵庭公園観察会、利根別自然観察会は、15年度の実施結果を基に継続か中止を決める。 下見については、原則として前日とする。(4、7、9、12月の森の観察会は前週木曜日) サークル活動を活性化させる。(会員の観察会の発信と事務局、研修部の協力) 					

平成15年度 小樽支部 観察会(案)

4月26日(土)	赤岩山～オタモイ海岸	赤岩2丁目バス停前	9:00
5月17日(土)	天狗山～穴滝	天狗山山頂 リス公園前	9:30
6月 7日(土)	オロフレ山	オロフレ峠駐車場	9:30
6月28日(土)	羊蹄山	真狩口	6:30
7月19日(土)	雨竜沼	妙見川ガード下国道沿	6:00
9月27日(土)	塩谷丸山	JR塩谷駅駐車場	8:30
10月11日(土)	天狗山～穴滝	天狗山山頂 リス公園前	9:30
11月 8日(土)	小樽市有林	生協みどり店前東側入り口	9:00
2月14日(土)	天狗山～オコバチ川	天狗ペアリフト乗り場	9:30
3月27日(土)	塩谷丸山	JR塩谷駅駐車場	8:30

参考

1. 約1週間前に新聞(道新小樽版、読売新聞金曜日夕刊)に集合場所、時間を掲載予定。
2. 天候の都合で、日時変更することがありますので、事前に申し込みしてください。
3. 参加料は300円です。貸切バスは実費。(当日受付)
4. 自家用車の方は、事前に連絡してください。(駐車場の状況、乗り合わせの可否等)
5. 申し込み問い合わせ等は、TEL 0134-27-1701 北原宅まで。

2. 平成15年度収支予算(案)

収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	346,796	
年 会 費	450,000	会員会費150名
雑 収 入	153,204	寄付金等
合 計	950,000	

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	摘 要
総 務 部 費	120,000	通信費 役員会総会会場費 役員会交通費 事務用品 雑費
事 務 局 費	160,000	通信費 事務用品費 記録代 雑費
研 修 費	120,000	研修会講師謝礼 研修会資料作成
活 動 費	100,000	総会参加補助 観覧会交通費 地方支部費
広 報 費	200,000	会報エソマフ作成 郵送料 編集事務費
振込み手数料	10,000	
予 備 費	90,000	
特 別 会 計	150,000	20周年記念企画積立金
合 計	950,000	

特別会計 20周年準備金

単位：円

項 目	予 算 額	前年度繰越	合 計	摘 要
20周年記念準備金	150,000	790,555	940,555	
合 計	150,000	790,555	940,555	

ヤマナラシ (山鳴らし) 考

川 端 功 治

「山鳴らし」と云う名の樹は、その名のとうり、何時でもサラサラと爽やかな音を立てて、山を賑わすので割りと知られている樹木の一つですが、その葉柄がおし潰された様に平たく、葉身を支えるのに不安定な形な為に、微風でもそよぎ易い事を知っている方は割りと少ないようです。

どうしてこのような仕掛けを身につけたのか。幾つかの説を拾ってみました。ギリシャ神話にあるのは、犯した罪の重さに恐れおののき、ハコヤナギ属の一族は子々孫々に至る迄、身を震わせているので葉がそよぐのだと云う。

その犯した罪とは、仲間のハコヤナギが、事もあろうにキリストを磔にする十字架に選ばれた事であります。選木の理由は重罪人には最下級の樹木を選びキリストの様な弱筋者でも笞打てば削る（重罪人は自ら十字架を削るルール）ことが出来る条件に叶うセイヨウハコヤナギ（ポプラ）が選ばれたのです。

ハコヤナギ属は箱柳属が語源で、八王子付近では箱木と呼ばれていたのがこの起こりでヤマナラシは白箱と呼ばれ細工物用として珍重されたとあります。野菜や魚箱マッチ軸木位にしか役に立たないから、軽蔑を込めて箱柳とされたと云いますが、現在はパルプ製紙の花形です。植え付け更新が容易であり未来資源に不安が一杯の日本にとって、大切にしたいホープでありましょう。山火事跡地の天然更新の先陣争いに全力を挙げるために徹底した陽樹の道を選び、他樹種の倍速の生長を遂げ、いち早く樹冠を占領して多樹種の梢端を抑えて優位に立つと大群落を造りますが、風倒等で他樹種の侵入を許すと、簡単に消滅する弱さもありません。

それから陽樹である為に常に葉を反転させて、太陽光を反射させ、常に樹冠内に陽光を満たして生長を促進させているらしいと云う説。花粉を拡散させている説。種子の放散に役立っている等の説があります。

因みにハコヤナギ属の全ての学名は *Populus* 属とされていますが、語源は *Popular* (大衆的) に起因するとされています。

北海道に産出するヤマナラシの仲間は、ヤマナラシ、エゾヤマナラシ、チョウセンヤマナラシの3種類に分けられるとされています。

しかし資料を頼りに調べると意外に難問題であることが判りました。

それぞれの樹種を区別する因子の幾つかは、表現が漠然としているのです。例えば大部分の葉に蜜腺や小枝に毛のあるものはヤマナラシとするとある。この場合20cmを超える巨木であったとすると、多くは生長の極めて早い樹木であるから下枝が高くて、調べようが無い。

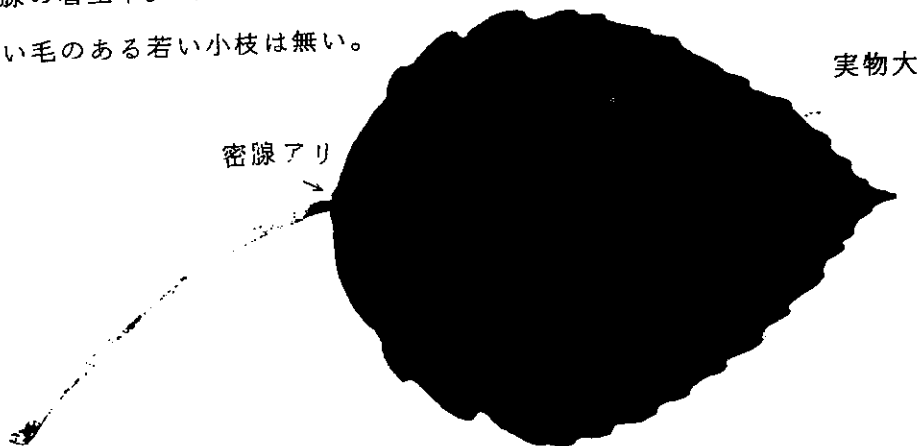
苦肉の策で付近の落ち葉や幼樹を探しても、当該木に関係があるかどうかの保証は無い。しかも拾った葉の70%にしか蜜腺が無かった場合、拾った小枝に白毛(夏期消失)が無かった場合、この木はヤマナラシかエゾヤマナラシか? 後述の実例は上記のような実例もありうる事を証明しています。

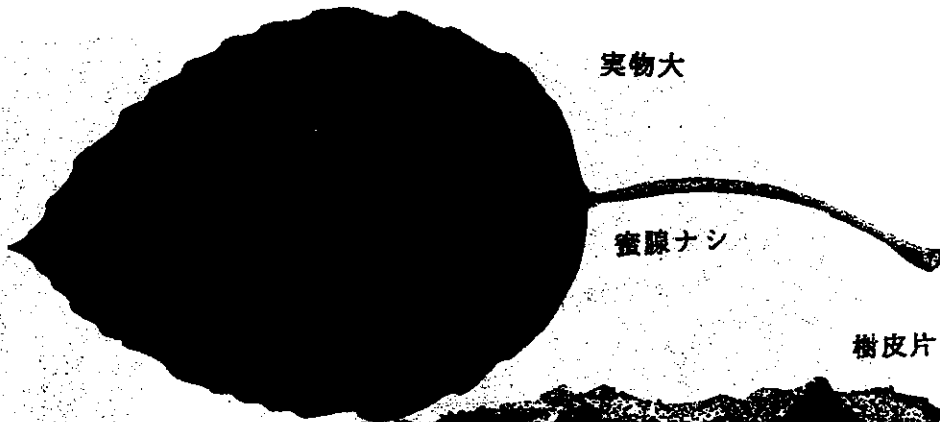
単木的にみれば、素晴らしく成長の早い木だけあって変異(進化?)も異なり全木全てが共通の因子で分類することは困難なのではないかと思われれます。これに変異の著しいチョウセンヤマナラシが絡んでくると正にお手上げです。

検証した樹木 No.1 目通径20cm位

市内平岡公園の沼地に【チョウセンヤマナラシ】と銘記された樹名板が取り付けられた札幌市役所管理の木を調べてみました。

- a. 調べた葉の総数。 360枚 (2cm位の下枝一本分)
- b. 上記の内、蜜腺(2ヶ並んだ正常なもの)が着生したもの。 179枚
蜜腺が異常(1ヶ又は奇形化したもの)なもの 22枚
- c. 蜜腺の着生率。 $(179 + 22) \div 360 = 0.558 \approx 56\%$
- d. 白い毛のある若い小枝は無い。

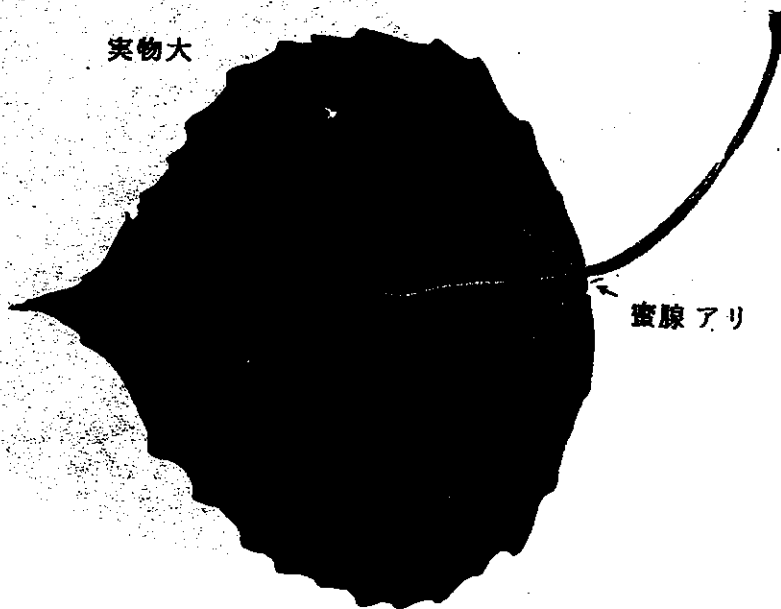


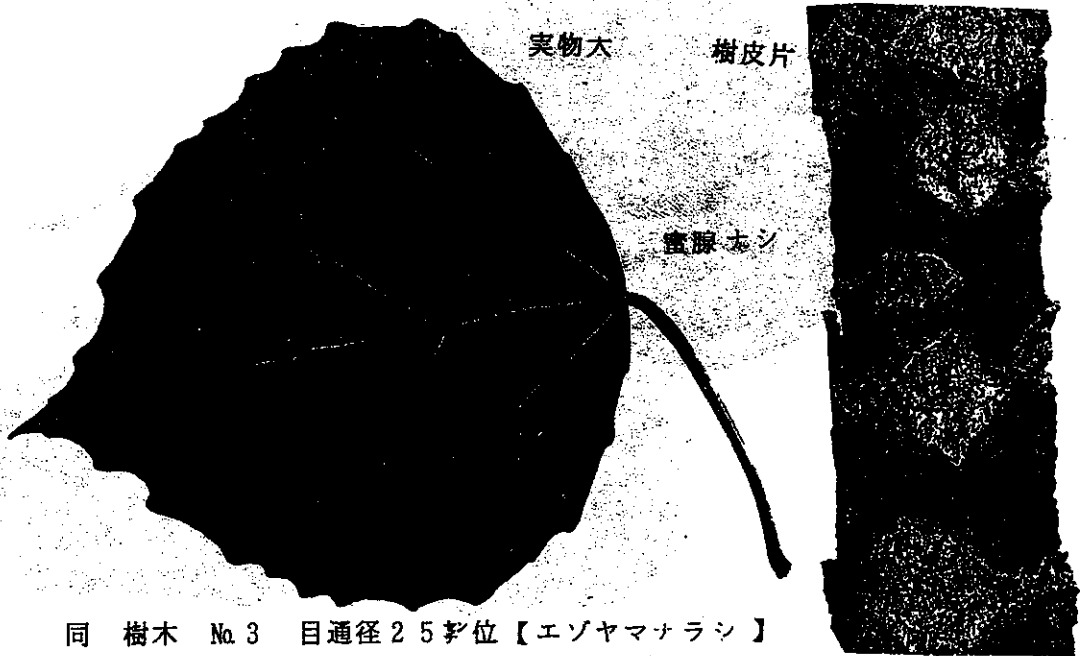


同 樹木 No 2 目通径 3.0 寸位【エゾヤマナラシ】

我が会が毎年観察会を開催してお馴染みの真駒内保健休養林、通称桜丘公園
にあつて石狩支庁管理の木を調べてみました。

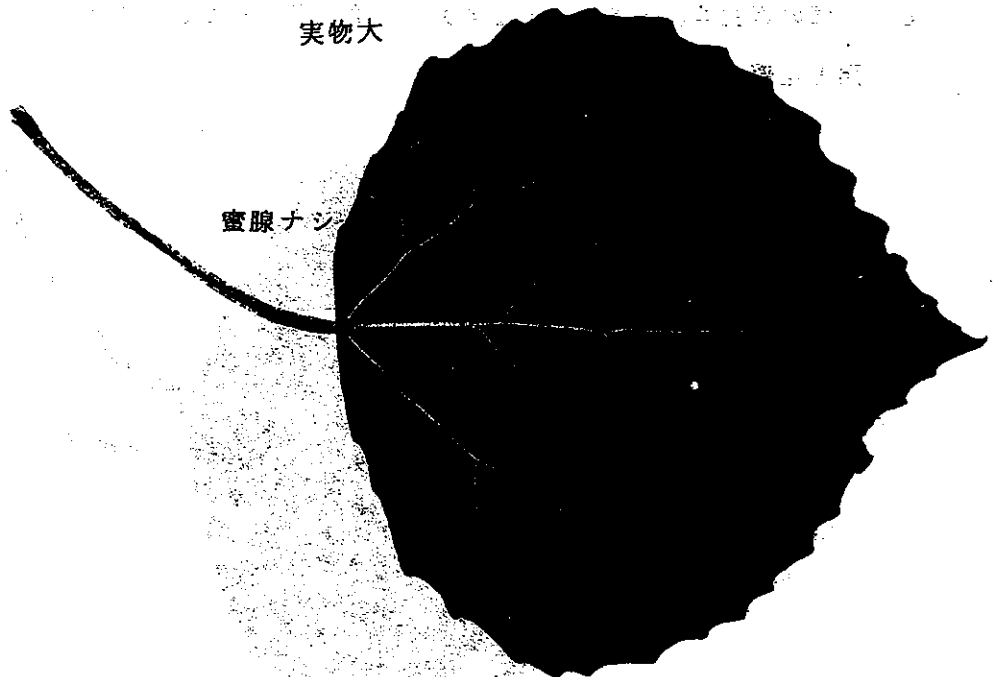
- a. 調べた葉の総数。 215枚 (1.5 寸位の下枝一本分)
- b. 上記の内、蜜腺 (2ヶ並んだ正常なもの) が着生したもの。 33枚
蜜腺が異常 (1ヶ又わ奇形化したもの) なもの。 14枚
- c. 蜜腺の着生率。 $(33 + 14) \div 215 = 0.218 \approx 22\%$
- d. 殆ど全部の小枝に白毛あり。





同 樹木 No.3 目通径2.5釐位【エゾヤマナラシ】

- a. 調べた葉の総数。 360枚 (1、5釐位の下枝一本分)
- b. 上記の内、蜜腺(2ヶ並んだ正常なもの)が着生したもの。 179枚
 蜜腺が異常(1ヶ又は奇形化したもの)なもの。 22枚
- c. 蜜腺の着生率。(179 + 22) ÷ 360 = 0.558 = 56%
- d. 全部の小枝に白毛無し。





実物大



樹皮片

蜜腺 アリ

まとめ

検索の時に判り易い表にでも纏めることが出来れば便利ではないかと、手をつけてみましたが、無理な注文であることが判りました。それは「日本の野生生物」の著者グループは見解として公表した次の文章は重要な指摘文なのです。

「北海道のものは成葉は一見して鋸歯が粗大なことでヤマナラシとは異なることがわかる。なおチョウセンヤマナラシ *P. davidiana* Dode が北海道に産するとされてきましたが、北海道から報告されたものは大陸産の真正なチョウセンヤマナラシとは異なりエゾヤマナラシの変異の範囲にいれるべきものと思われる。

チョウセンヤマナラシ（真正大陸産）は北海道産（慣用チョウセンヤマナラシ）のそれに（真正）当てられてきたものより葉が小さい。」

「今後の詳細な研究が必要である」と。

青天の霹靂として驚いている暇は無い。既に原末次先生は「札幌の植物」ではチョウセンヤマナラシはエゾヤマナラシに統合し、この仲間はヤマナラシと、エゾヤマナラシの2種に減らしして刊行されました。

ところがこれと逆に佐藤孝夫先生は「北海道樹木図鑑」で「チョウセンヤマナラシ=エゾヤマナラシ、として刊行しました。

これで札幌市平岡公園のチョウセンヤマナラシをエゾヤマナラシと書換える必要は無いことになるのかどうか。

そうすると原先生の考え方は、中央段階の諸先生方の見解である「道産種は大陸の真正種と違い、エゾ種の変種である」を直訳したものであり、佐藤先生のは「オオバ云々、エゾ云々、」等の新和名が生まれる迄の暫定措置と見たがどうか。菱形の皮目が一段と浮き立って見えるヤマナラシをチョウセンヤマナラシと解説して観察会の目玉になっていた西岡水源池縁の社有林の木が、径年と共に皮目が縦割りになり、上記の検証木№3の樹肌の模様を経てコナラや、オオバヤナギのような縦筋の荒々しい木肌になつてしまったスピードは驚異

であります。それで生長の早い木は変移するのも早いだらうと云う先入観で上記の検証木№1（チョウセンヤマナラシ）をもう一度調べて見ると、蜜腺が着いた葉が56%も有る。（大陸の真正チョウセンヤマナラシは0%）。

それは無腺から有腺に進化したのだと推理出来ないか。

次に葉の形は似ているが、大陸のそれより大き過ぎると云う。

（北海道では特に大きくなる植物が多いから特別なことでは無いと思うが）つまりところ中央段階の諸先生がエゾヤマナラシに含めて仕舞えと云う指導に抵抗したい底意があるからであります。

上記の検証木№1の葉と№2、3、の葉を比べてみると、その形に明らかな差が有って、同一樹種にひっくるめて仕舞うのは乱暴に過ぎると思うからで、楕円形と扇円形の差は尊重されるべきだと思います。

例えばオオバチョウセンヤマナラシ・エゾチョウセンヤマナラシ等の別和名を付けるべきで、ヤマナラシとエゾヤマナラシは蜜腺と有毛小枝の着生率が、90%程度を超えるものを、ヤマナラシと割りきれば、90%を割るものは、全てエゾヤマナラシとなり、取扱が大変楽になりましょう。

以上のことから各自が対応してきた方法に依って当面は処理し、いずれ何らかの中央情勢の変化が有るものと信じ、期待するのが纏めの結論です。

研修会情報

ボランティア・レンジャー 育成研修と実践セミナーについて

今年度の育成研修会と実践セミナーについては次のページに記載されている要項で行われます。育成研修については、私たちの活動と会員を広げていくためにも、友人、知人にPRしてください。

実践セミナーについては、道の自然環境課では会員のすべてに案内をだしていないとのこと。実践的な知識や技術を高めるよい機会です。受講者募集案内を見られて、多くの会員の参加をお願いします。

なお、締切り日が6月20日になっていますので、希望の方は遅れず申し込んでください。

グリーンインストラクター養成研修会

北海道国土緑化推進委員会主催のグリーンインストラクター養成研修会が下記の要領でおこなわれます。5日間の全日程を受講できる方ということですが参加希望者については事務局（田村 011-791-0127）にご連絡ください。一括申し込むことになっています。

- ・目的 森林・環境緑化・林業等に興味を持ち自然観察会等で活動をする方
- ・日時 平成15年9月29（月）～10月3日（金）
- ・場所 苫小牧市サイクリングターミナル
- ・費用 教材費 7000円 宿泊代 24000円

希望者は詳しい要項をお送りします。事務局（田村 011-791-0127）までご連絡ください。

平成15年度 ボランティア・レンジャー育成研修会 受講者募集案内

北海道の豊かな自然環境を将来に渡って保全し次代に引き継ぐためには、自然とふれあい、その素晴らしさを体験し、自然のしくみやはたらきについて理解することを通じて、自然を大切にしていこうという心を育てていくことが必要です。そのためには、各地で行われる自然観察会等において、住民が相互に自然への理解を深め合うボランティア活動の促進を図ることが重要です。

本研修会は、自然保護の基礎知識や技術等を普及し、人と自然との架け橋となるボランティア・レンジャー（自然解説員）を育成するものです。

日時 平成15年7月11日(金)13:00～平成15年7月13日(日)12:00

場所 芦別市旭町油谷1番地 芦別温泉スターライトホテル

対象 満18歳以上で自然に興味・関心があり、自然観察会等において今後実践活動をしていきたいという意欲のある方。

募集人員 30名(申込多数の場合は抽選)

参加費用 18,000円程度(宿泊代、食事代等)
*現地までの交通費は各自負担。
*当日は現地集合・現地解散(会場には駐車場があります。)

研修内容 (予定)	7/11(金)	*講義「野外観察時における救急救命法」 *講義「自然観察の手法・技術、入門編」
	7/12(土)	*探鳥会の運営について *野外実習「自然とふれあう楽しさを学ぶ」
	7/13(日)	*野外実習「効果的な観察会の運営について」

研修会場：スターライトホテル及び周辺

受講申込方法 ハガキ、FAX、Eメールにて「ボランティア・レンジャー育成研修会」受講希望と明記し、下記の内容を記入して、北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあい係までお送り下さい。

申込締切日6月20日(必着)持参可。

*電話での受付はいたしませんので、ご了承下さい。

記入事項：氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、年齢、性別、職業、電話番号(Fax, e-mailアドレス)
研修場所までの交通手段(自家用車 or 公共交通機関)喫煙の有無

*受講通知は、6月27日(金)頃まで郵送します。

*申し込まれた方には研修の趣旨等詳しい資料をお送りして改めて参加の意向を確認します。

申込・問い合わせ先 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあい係

TEL: 011-231-4111 内線24-365 Fax: 011-232-6790

E-mail: kansei.shizen1@pref.hokkaido.jp

主催：北海道
後援：芦別市

(*当研修会は「北海道アウトドア資格制度」とは、直接の関係はありません)

平成15年度 ボランティア・レンジャー実践セミナー 受 講 者 募 集 案 内

北海道の豊かな自然環境を将来に渡って保全し次代に引き継ぐためには、自然とふれあい、その素晴らしさを体験し、自然のしくみやはたらきについて理解することを通じて、自然を大切にしていこうという心を育てていくことが必要です。そのためには、各地で行われる自然観察会等において、住民が相互に自然への理解を深め合うボランティア活動の促進を図ることが重要です。

本セミナーは、ボランティア・レンジャー（自然解説員）を対象に実践的な知識及び技術を普及し、自然観察会等におけるボランティア・レンジャーの積極的な活動の促進を図るために開催します。

- 日 時 平成15年7月11日(金)13:00～平成15年7月13日(日)12:00
- 場 所 芦別市旭町油谷1番地 芦別温泉スターライトホテル
- 対 象 過去に「ボランティア・レンジャー育成研修会」を受講し、修了された方。
- 募集人員 20名(申込多数の場合は抽選)
- 参加費用 18,000円程度(宿泊代、食事代等)
*現地までの交通費は各自負担。
*当日は現地集合・現地解散(会場には駐車場があります。)

研修内容
(予定)

7/11(金)	*講義「野外観察時における救急救命法」 *講義「自然観察会の企画、運営方法について：テーマの設定」
7/12(土)	*探鳥会の運営について *野外実習「自然の楽しさをどのように伝えるか：テーマの実践」
7/13(日)	*講義 or 実習「実践結果の発表」

研修会場：スターライトホテル及び周辺

受講申込方法 ハガキ、FAX、Eメールにて「ボランティア・レンジャー実践セミナー」受講希望と明記し、下記の内容を記入して、北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあい係までお送り下さい。

申込締切日 6月20日(必着)持参可。

***電話での受付はいたしませんので、ご了承下さい。**

記入事項：氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、年齢、性別、職業、電話番号(Fax, e-mailアドレス)
研修場所までの交通手段(自家用車 or 公共交通機関)喫煙の有無

*受講通知は、6月27日(金)頃まで郵送します。

*申し込まれた方には研修の趣旨等詳しい資料をお送りして改めて参加の意向を確認します。

申込・問い合わせ先 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境室自然環境課自然ふれあい係

TEL: 011-231-4111 内線24-365 Fax: 011-232-6790

E-mail: kansei.shizen1@pref.hokkaido.jp

*本セミナーは「ボランティア・レンジャー育成研修会」と同時に開催しますが、研修は一部を除いて独自に実施します。

*本セミナーは「北海道アウトドア資格制度」とは関係ありませんのでご留意下さい。

主催：北海道
後援：芦別市

自然体験塾

自然観察会実施予定表

〒006-0816 札幌市手稲区前田6条9丁目11-8

TEL/FAX:011-682-0874 猪師 勉

携帯:090-7512-5766

E-mail: taiken91@phoenix-c.or.jp

http://www.phoenix-c.or.jp/~taiken91/

月日	観察会の種類	観察会の場所	集合場所	持ち物	備考
平成15年 1/26 (日)	冬芽の樹々つる性の木観察	西岡水源地	午前9:00 管理事務所前		防寒用服装
2/9 (日)	冬山登山と樹木観察	藻岩山	午前10:00 慈啓会病院前	昼食	防寒用服装
4/29 (祝)	植物観察	北大植物園内	午前9:00 北大植物園前		サンシュユやトサミズキの花が見られる
5/3 (祝)	カタクリの大群落観察	花魁淵周辺	午前9:00 真駒内駅待合室	昼食	根の観察をします
5/5 (祝)	神宮の樹々ウォッチング	北海道神宮境内	午前9:00 円山公園管理事務所前	双眼鏡 昼食	北海道に自生していない樹木を観察
5/11 (日)	オタモイ・赤岩海岸散歩の旅			日帰り 2,500円(保険、入浴代含む) 午前8:00NHK前出発 ◎申し込みが必要	
5/31 (土)	山菜の見分け方	手稲山ロープウェイ周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナイフ お椀・昼食	山菜料理を試食
6/8 (日)	カッパ湖散歩	定山溪温泉街上流	午前9:00 定山溪ホテル前	昼食	カッパ湖4kmを自然散策、足湯に入ります
6/15 (日)	洞爺湖西山火口散策と室蘭地球岬の旅			日帰り 2,500円(保険代含む) 午前8:00NHK前出発 ◎申し込みが必要	
6/21 (土)	夏山登山	平和の滝より手稲山	午前9:00 平和の滝広場	昼食	所要時間7時間程度
7/13 (日)	樹木観察	野幌森林公園	午前9:00 大沢口駐車場	昼食	大木を中心に観察します
7/26 (土)	ホテル観察	西岡水源地	午後7:00 管理事務所前	懐中電灯	小学校低学年の方は保護者同伴
8/3 (日)	樹木観察	岩見沢市利根別	午前10:00 利根別自然休養林入口	昼食	◎申し込みが必要 樹木の観察に最高の場所です
9/13 (土)	薬用植物観察	大倉山近くと荒井山周辺	午前9:00 円山公園管理事務所前	昼食	
9/28 (日)	きのこ狩り	手稲山周辺	午前10:00 手稲山ロープウェイ前	ナイフ お椀・昼食	きのこ汁の試食と見分け方相談
10/11 (土)	紅葉のニセコ神仙沼と五色温泉周辺散歩			日帰り 2,500円(保険代含む) 午前8:00NHK前出発 ◎申し込みが必要	
10/26 (日)	天然ドライフラワーウォッチング	西岡水源地	午前9:00 管理事務所前	昼食	サビタ・ツルアジサイ・イワガラミ
11/1 (土)	つるで花箋作り	荒井山周辺	午前9:00 円山公園管理事務所前	ハサミ 軍手・昼食	◎申し込みが必要 参加費1,000円(会員は除く)
平成16年 1/12 (祝)	自然体験塾新年会			◎申し込みが必要	

※参加費300円(会員は除く)

※すべて雨天決行

編集後記

- ◆4月の総会で15年度の活動も決定し、具体的にうごきだしました。例年通りの活動であってもマンネリにならぬ創意工夫を加え、会の活性化を図っていくことが大切なことでしょう。
- ◆今年度の総会で承認された議案書を掲載いたします。会費の使われかた、活動の計画をごらんになってください。
- ◆会長川端功治氏執筆のヤマナラシ考を掲載しました。樹木の同定の難しさを知らされた思いがしますと同時に専門家ではない私たちが観察会活動にこのような事にどう取り込んでいくかの課題を提供してくれました。
- ◆今年からサークル活動を発信していくことになりました。4月に札幌の円山での登山観察会、5月に三角山～大倉山登山観察会を実施しました。多様なスタイルの観察会を試行していくと会の活動に幅がでてきます。今後もサークル活動を活発化させましょう。サークル活動の発信の際は、連絡は事務局田村（TEL791-0127）まで。
- ◆各地での活動の計画や実施状況をお知らせください。本誌で交流していきたいと思えます。原稿は事務局にお寄せください。

北海道ボランティア・レンジャー協議会
会報誌「エゾマツ」No.65 2003. 6. 10 発行
発行責任者 川 端 功 治